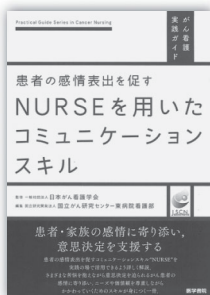


研究指導方法論 看護基礎・卒後・継続教育への 適用

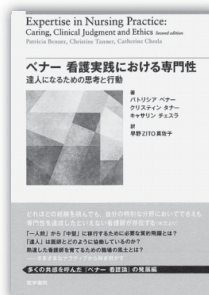
舟島なをみ 著
本体 3700 円＋税
医学書院

看護基礎教育、大学院での看護卒後教育、臨床での看護継続教育のそれぞれに求められる看護学研究の水準を示し、段階に応じて「研究計画の立案」「データ収集・分析」「論文執筆」「研究助成の獲得」などへの支援、指導の方法を伝えました。研究指導者必読の 1 冊です。



《がん看護実践ガイド》 患者の感情表出を促す NURSE を用いた コミュニケーションスキル 一般社団法人日本がん看護学会 監修 国立研究開発法人国立がん研究セン ター東病院看護部 編集 本体 3000 円＋税 医学書院

がん患者はさまざまな状況で苦悩を抱えながら、いく度にもわたって意思決定が迫られる場面に向き合わなければなりません。「NURSE」を用いて、患者・家族の感情表出を促し、心に寄り添い、意思決定を支援するコミュニケーションスキルを解説しました。



ベナー 看護実践における専門性 達人になるための思考と行動

パトリシア・ベナー／クリスティン・タナー／キャサリン・チェスラ 著
早野 ZITO 真佐子 訳
本体 5600 円＋税 医学書院

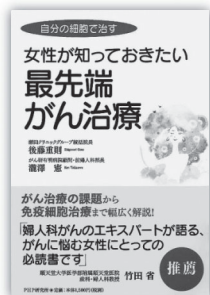
長年経験を重ねた看護師でも、実践でのスキルレベルはさまざまに異なり、その差が直接患者ケアに影響します。同じ事象への対応が各レベル間でどのように異なるのか、また何がそのような違いをもたらすのか。さまざまな看護師のナラティブからひも解きました。



水も過ぎれば毒になる 新・養生訓

東嶋和子 著
本体 630 円＋税
文藝春秋(文春文庫)

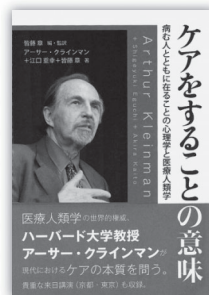
江戸前期を代表する儒学者・本草学者である貝原益軒。彼の著作『養生訓』には、心と身体の指南書として今も役立つ情報があふれています。益軒の教えを、科学ジャーナリストである著者が、最新の医学・健康情報を交えながら、わかりやすく解説しました。



自分の細胞で治す 女性が知っておきたい 最先端がん治療

後藤重則／瀧澤憲 著
本体 1500 円＋税
PHP 研究所

体外で培養・強化した自らの免疫細胞を用いるため、抗がん剤治療などと比較して、重い副作用なく、がんを攻撃できる免疫細胞治療。罹患患者数が増加している、子宮がん、卵巣がん、乳がんなどの婦人科がんのエキスパートが、女性のがんの現状と最先端のがん治療法を解説しました。



ケアをすることの意味 病む人とともに在ることの 心理学と医療人類学

アーサー・クラインマン／江口重幸／皆藤章 著
皆藤章 編・監訳
本体 2400 円＋税 誠信書房

医療人類学の世界の権威である著者アーサー・クラインマンは、現代におけるケアの本質を問い、ケアの効率化・画一化により失われた、複雑さや深みのある感性、矛盾といった人間性を回復する必要があると訴えています。京都・東京で行なわれた来日講演の内容も収載されています。